

## 自己評価報告書

平成 23 年 4 月 20 日現在

機関番号：34310  
 研究種目：基盤研究（B）  
 研究期間：2008～2011  
 課題番号：20320036  
 研究課題名（和文）音楽・演劇・映画の世界における「ロシア」イメージの形成に寄与した亡命者の研究  
 研究課題名（英文）Russian Emigrants Contribution to the Construction of the Image of “Russia” in the World Music, Theatre and Film

研究代表者  
 Melnikova Irina  
 同志社大学・言語文化教育研究センター・教授  
 研究者番号：10288067

研究分野：人文学  
 科研費の分科・細目：芸術学 ・ 芸術学・芸術史・芸術一般  
 キーワード：多文化、亡命文化、ロシア、イメージ研究、映画論、文化的アイデンティティ

## 1. 研究計画の概要

1) 1920-1970年代に亡命者として活躍したロシア出身の音楽・演劇・映画関係者たちについて資料の収集や、データベースのコンピューター検索を通じて、「ロシア」イメージ形成に寄与した亡命者の役割を解明するための文献資料・映像資料を明らかにし、可能な限り多くの図書、ビデオ・DVDを購入する。

2) アジア・アメリカ・ヨーロッパで撮影された「ロシア」テーマの映画に関するリストを作成する。

3) 世界の映画において、「ロシア」テーマをもつ映画のジャンル、プロットについて体系化し、それぞれの文化的な分野にとってもっとも特徴的なプロットの組み立て、主人公のタイプなどについて解明する。

4) 得られたデータを歴史的・地政学的コンテクストに置いて検討する。

5) 専門家を講演に招いたり、研究成果を持ち寄って討議したりするために、研究会を催し、最終年度にはまとめた論文などの研究成果をHPに掲載する。また、得られた成果は、国内外の学会で報告する。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 今まで研究分担者は、各国のアーカイブや資料館、図書館、映画保管所で調査し、「ロシア」イメージ形成に寄与した亡命者についてデータをまとめ、彼等の芸術的寄与に対する観客や評論家の反応について理解を深めた。彼等が参加した映画を分析し、亡命者の映画における東洋的モチーフと「謎のロシア」のイメージ、ロシア文学の映画化と「ロシア」イメージについて考察し、研究成果を国際学会や研究論文に発表している。

(2) 研究代表者Melnikovaは、ロシア国立映画保管所の専門家と協力して、1920-40年代の「ロシア」テーマをもつ世界映画のリストを作成した。

(3) 研究会には、講師として青山学院大学のポダルコ准教授、法政大学日ロ関係研究所特任研究員モロジャコフ教授、ロシア国立映画芸術科学研究所のヌシノヴァ教授を招き、2010年には北海道大学の望月恒子教授が代表者を務める科学研究費補助金「辺境と異境—非中心におけるロシア文化の比較研究」との合同国際シンポジウム「亡命と芸術—異境のロシア文化」を開催した。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

映画の分野では俳優モジューヒン、映画監督ツルジャンスキー、演劇の分野ではミハイ

ル・チェーホフ、音楽の分野では歌手ヴェルティンスキー等について、「ロシア」イメージの形成に対する彼らの寄与をまとめ、すでにいくつかの論文に発表しているから。

#### 4. 今後の研究の推進方策

1) 今までなされていないアメリカ現地資料調査を行い、アメリカ映画におけるロシア人亡命者の寄与について一層の理解を深める。

2) 芸術における多文化主義・表象の政治学と心理学、文化的アイデンティティなどに関する理論に基づき、今まで集めた資料の分析を行う。

3) 1920-50年代にヨーロッパ・アメリカ・アジアで活躍し、映画に出演したロシアの俳優・大衆芸能の演技者に関する情報を整理し、リスト・年表を作成する。

4) 合同研究会のほかに、これまで収集した資料の分析結果の報告・討論のために年2回程度関西地区（同志社大学・神戸大学など）で研究会を開催し、研究結果を報告して、討論を行う。

#### 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計9件）

① Melnikova Irina、«Тайны Востока» - ориентальные мотивы в творчестве российских кинематографистов зарубежья и образ экзотической России、 境界と異境—非中心におけるロシア文化の比較研究、査読無、No. 2、2011、60-75.

② 諫早 勇一、Гражданская война и исход с точки зрения писателя-эмигранта Набокова、 境界と異境—非中心におけるロシア文化の比較研究、査読無、No. 2、2011、40-47.

③ Melnikova Irina、Чей соловей? Отзвук песен русского Харбина в японском кино、 Киноведческие записки、査読有、No. 94/95、2010、190-207.

④ 楯岡 求美、演劇における感情の伝達をめぐって—スタニスラフスキー・システム形成過程についての一考察、 国際文化学研究、査読有、第35号、2010、73-100.

〔学会発表〕（計11件）

① Melnikova Irina、《東洋の神秘》—亡命者の創作における東洋的モチーフと、「謎のロシア」のイメージ、 科学研究費補助金による合同国際シンポジウム「亡命と芸術—異境のロシア文化」、2010年11月19日、同志社大学今出川校地.

② 諫早 勇一、Гражданская война и исход с точки зрения писателя-эмигранта Набокова、 科学研究費補助金による合同国際シンポジウム「亡命と芸術—異境のロシア文化」、2010年11月19日、同志社大学今出川校地.

③ Melnikova Irina、The Images of Native People of Siberia and the Far East in Russian Film、 International Symposium “Orient on Orient: Images of Asia in Eurasian Countries”、2010年7月8日、Slavic research Center, Hokkaido University.

④ Yuichi Isahaya、Набоков и молодые пражские поэты、 The Fourth Vladimir Nabokov International Conference、2009年6月25日、St. Petersburg / Russia.

⑤ Melnikova Irina、The Soviet-Japanese Cultural Exchanges in the 1950-60s: Screen Images and Reality、 12<sup>th</sup> International Conference of the EAJS、2008年9月23日、Salento University, Italy.